

江東区議会議員

鈴木あやこ

働く世代の
ワーク・ライフ・バランスを
応援します！

2018年
4-5月号
Vol.57

鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★所属委員会 (2017年度) 文教委員会 委員／オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 副委員長

★マニフェスト大賞 副実行委員長ほか、全国の地方議員の勉強会の事務局に携わる。

★趣味：料理・まち歩き・水辺歩き



鈴木あやこの活動報告

有明西学園竣工視察 (2月23日)

4月から新規開校する「有明西学園」の竣工視察に参加。人口が急増する有明地区2校目の学校で、江東区初の小中一貫教育を行う、「義務教育学校」。1年生から9年生までが同じ建物で学びます。江東区の地場産業である木材をふんだんに用いたぬくもりのある校舎。英語教育やICT教育の充実、1年生から標準服(制服)があるなどの特徴があります。有明地区の地域コミュニティや防災拠点ともなる学校です。今後江東区では小中一貫教育の検討も進んでいく予定です。しっかりと推進していきます。



写真：木材をふんだんに利用した有明西学園の校舎

首都高速晴海線(晴海～豊洲) 開通記念式典 (3月10日)

首都高速晴海線(晴海～豊洲間) 開通記念式典に参加。

「晴海地区の全体の混雑緩和」

「臨海部の防災機能の強化」

「湾岸線と都心をつなぐルート of のさらなる強化」の実現が、開通により期待されます。2020年東京五輪・パラリンピックで、選手村と臨海部などにある競技場を結ぶ待望の路線です。

オリンピック・パラリンピック推進特別委員会の副委員長として、2020年に向け、交通の利便性向上を議会全体で進めていきます。



写真：式典会場・首都高晴海線



毎月恒例！鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内

江東区のまちづくりについて、皆様とざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」最新のまちづくりの話題や議会活動のお話を中心。お気軽にお越しください！

● 第84回：平成30年4月25日(水) 19:00～20:30

豊洲文化センター第3研修室(江東区豊洲2-2-18豊洲シビックセンター8階)



必要と考えるが、区の見解を伺う。

【答弁】

豊洲地域において、豊洲市場の開場を契機に、新たな地域ブランドを創出することは更なるイメージアップにつながり、重要。東京や日本の中核市場として整備された豊洲市場は、新たな食文化の拠点であり、これを地域資源として有効に活用して豊洲市場の魅力あるまちづくりを推進することで、賑わいづくりや地域振興に大いに効果が期待される。今後の「豊洲ブランド」の構築・推進については、地域の機運醸成が必要不可欠であることから、区として、豊洲市場と地域経済団体や経済団体との新たな連携関係の構築や、地域イベントの市場関係者の参加などを積極的に働きかけていく。



(2) 豊洲ぐるり公園について

豊洲ぐるり公園については、豊洲市場の移転延期により開園が凍結されていたが、昨年7月に市場部分以外が部分開園し、4月1日に全面開園することとなった。民間の力を活用した管理運営事業の開始が待たれるところであるが、現在は凍結中の状態。豊洲ぐるり公園を含む「豊洲埠頭内公園管理運営事業」の今後の予定は、管理運営事業が開始すると、公園内で事業者が主体となり、イベントを開催したり、眺望の良い場所に魅力的なテナントの入った施設を設置したりすることも可能になり、豊洲市場の千客万来施設と一体的に賑わいを創出できるようになる。

豊洲埠頭内公園の管理運営事業における区の見解を伺う。